

① 国民健康保険の広域化について

昨年、医療保険制度改革関連法案が成立し、平成30年度から国民健康保険の都道府県単位への移行が決まった。国保財政の安定化を図るためとしているが、完全移行型ではなく県が統一して運営方針を決め、財政運営に責任を負うものと理解される。一方、町は引き続き国保の保険者として資格管理や税率の決定、国保税の賦課徴収を行うとされる。これらのことから、以下のことについて質問する。

- (1) 住民からは所得は低いのに国保税が高いと住民からの悲鳴が聞こえる。この現状を町はどのように捉え、どう対策を講じているのか伺う。
- (2) 国保税の収納率、滞納世帯数、短期被保険者証・被保険者資格証明書の発行数はどのようになっているのか伺う。
- (3) 国保会計への一般会計からの繰り入れについて町の考えを伺う。
- (4) 広域化へ向けた県や他市町との協議状況・内容を伺う。

② ごみの減量化への取組について

昨年4月に本格稼働をした熱回収施設(クリーンパーク長与)も不具合後の炉の改修も終了し安定した運営が行われていると伺っている。この施設の稼働に伴いもやせるごみに出すことができる種類も増え、住民からは歓迎の声が聞かれる。ごみの減量化に向けては町も様々な施策を講じ、町民の理解のもと取り組んできたことは理解する。また、保健環境連合会や環境サポーター、コミュニティ、自治会等の啓発活動も減量に向けて大きく貢献しているものと思う。ここで更なるごみの減量化と住民の利便性・公平性を考え以下のことについて質問する。

- (1) 平成26年第4回定例会で質問した「粗大ごみ戸別収集有料化」の検討状況を伺う。
- (2) 昨年度からもやせないごみとペットボトルが月2回のステーション回収となったが、収集の状況を伺う。